

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
広島市	海上奥・上畑・下畑・国草・葛谷地区	令和3年12月27日	

1 対象地区の現状

①地区内の農地面積	17.64 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の農地面積の合計	9.65 ha
③地区内における70才以上の農業者の農地面積の合計	4.89 ha
i うち後継者未定の農業者の農地面積の合計	2.42 ha
ii うち後継者について不明の農業者の農地面積の合計	0.00 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.00 ha
(備考) 圃場整備地が多く、中心経営体以外は水稻栽培が多くを占める。	

2 対象地区の課題

地域の農地の現状と課題、今後の農地利用の意向等を把握するためアンケートを実施した結果、回答者の農地面積の約5割が70才以上となっており、高齢化が進行し始めている。 また、アンケートに回答した70才以上のうち後継者がいる農地の面積は約5割となっており、数年～十数年後、管理できない農地が増えることが懸念される。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

広島市農林水産振興センターの「ひろしま活力農業経営者育成事業」研修を平成30年11月に修了し、当地区に就農している岡崎和也氏を中心経営体として位置付けており、引き続き農地を集約していく。
今後、「ひろしま活力農業経営者育成事業」研修修了生等、中心経営体となり得る就農希望者へ農地を斡旋していく。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向			
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲	備考
認就	岡崎 和也	野菜	1.48	野菜	1.48	国草・葛谷	将来的には規模拡大予定
計	1 経営体		1.48 ha		1.48 ha		

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

中心経営体である岡崎和也氏は規模拡大の意向があるため、地域で話し合いながら、貸付け等の意向がある農地について、面積や立地・農地条件等を考慮しながら集約していく。

当地区は、中心経営体以外は水稻栽培が多くを占めるが、数年～十数年後には、さらに高齢化が進み、後継者不足が懸念されるため、今後、規模縮小や離農を希望する水稻農家がいれば、その都度、中心経営体へ農地を集約していく。

今後、中心経営体となり得る就農希望者へ農地を集約するため、地域で話し合い、受入れを促進・支援していく。

(参考) 農地の貸付け等の意向(任意記載事項)

農地の所在(地番)	貸付け等の区分(㎡)		
	貸付け	作業委託	売渡
海上奥、上畑、下畑、国草	5,087	0	2,893.3
計	5,087	0	2,893.3